

当たり前前に授業前の実技研究をするプロジェクト

「マエケン」のご案内

マエケンとは、体育実技をしながら教材研究を行う実技研究会です。

若手の先生からよく耳にする、「体育の授業をする前に、本当は実際に実技研究をしたい。」「でも、実技の機会、場、仲間がなくてできない。」という声に応えます。自分の学級をイメージしながら実技をして、ルールを考えたり、技術ポイントを吟味したりした上で、授業に挑んでみませんか。手応えが違うから。

4月は**ハンドボールの実技研究**です。

【日時】 4月26日(土) 10:00～12:30

【場所】 広島大学附属小学校グラウンド (広島市南区翠1-1-1)

※自家用車での乗り入れは可能です。

【当日のプログラム】(19:30～受付)

10:00～10:30・学級開き、体育開き交流会

・ボール運動の中核にハンドボール

10:30～12:30・低・中・高の発展ゲーム実技研究

提案：大後戸一樹先生（広島大学）

体育授業で中心的に扱われるボール運動。

その中核にハンドボール、という提案を、実技を通して検討します。

そのあとは、BBQ



【参加費】

500円（資料代として）

（同志会会員・院生学生は無料）

問い合わせ先
大後戸 一樹（広島大学）
082-424-7152
kazukio@hiroshima-u.ac.jp